

# YA だよい

2021年10月号

だんだんと秋も深まり、日が暮れるのがずいぶん早くなりました。秋の夜長に読書はいかがでしょう。

10/21～11/9は読書週間です。



“YAコーナー”は児童書コーナー入って左側  
“YA特集”は児童書コーナーの右側の棚です

発行 西条市立東予図書館  
住所 西条市周布 427 番地  
TEL 0898-65-4797  
開館時間 10:00～18:00

## ☆新着本の紹介☆

(TRCマーク情報より)

★『見た目が気になる』 河出書房新社/編 青木美沙子ほか/著  
人はどうして見た目が気になるのか。周囲や社会の価値観にとらわれず「自分らしさ」を見出すために、モデルや社会学者、漫画家など26人が「見た目」との向き合い方を考える。(YA/361)



★『世界一やさしい依存症入門』 河出書房新社/編  
人はどうしてハマるのか、その背景には何があるのか、どうすれば立ち直れるのか。専門医が、中高生の事例とともに、依存のしくみや、依存症とのつきあい方を紹介。具体的なアドバイスや情報も盛り込む。(YA/493)



★『国語をめぐる冒険』 渡部 泰明・平野 多恵・出口 智之・田中 洋美・仲島 ひとみ/著  
国語は、人間として成長することと深く関わる科目。人の心との出会い、他者との出会い、言葉や国語との出会い…。さまざまな作品を取り上げながら、国語という冒険の旅で得る出会いを紹介する。コラムも掲載。(岩波ジュニア/810)



## ☆YAコーナー特集☆

(TRCマーク情報より)

◎今月は「**鬱陶しい?でもありがたい? 家族**」特集です。

★『家族ってなんだろう』 アグネス・チャン 立松和平ほか/著  
子どもの身近な生活の中に「哲学する種」がある。哲学者をはじめ、さまざまな職業の著者が自分の経験を語りながら、わかりやすく「家族ってなんだろう」を考える。12歳から読める、生活のなかで探求する哲学シリーズ。(児367)



★『そして、バトンは渡された』 瀬尾まいこ/著  
血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。(913/セ)

